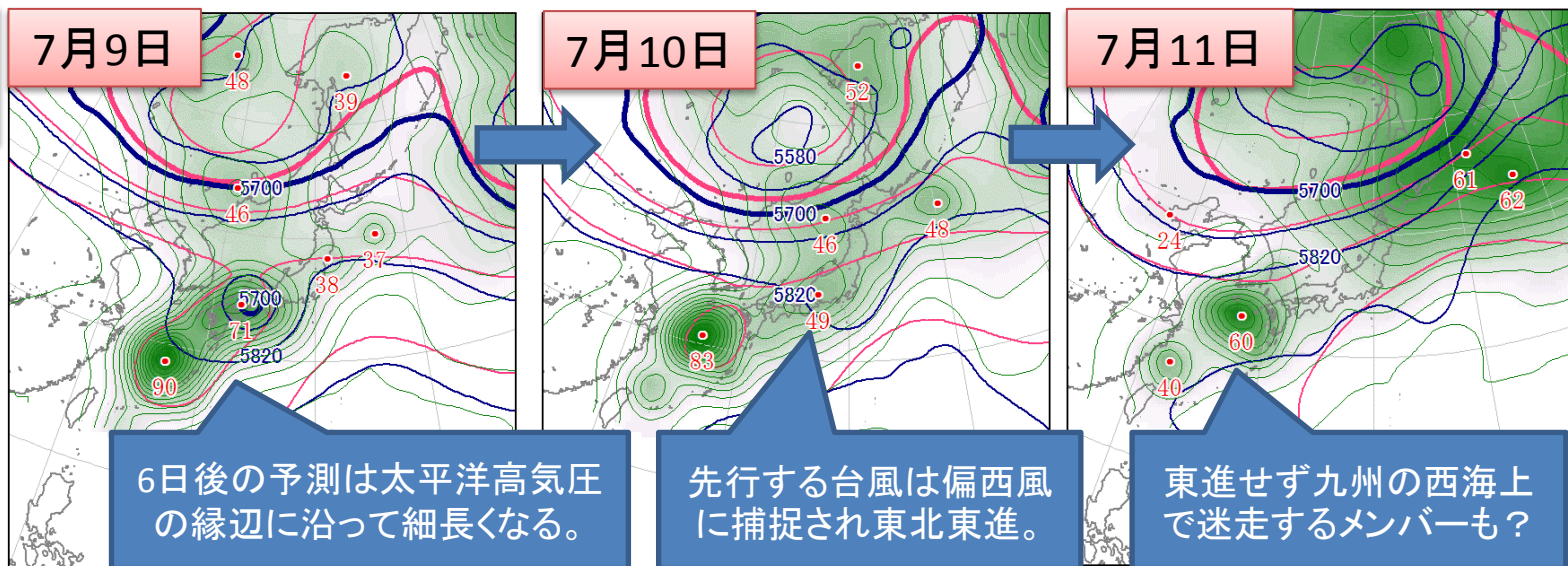


FAX-アンサンブルの利用例(台風)

気象庁発表の台風アンサンブルは5日先まで。6日～9日先の予測は？

太平洋高気圧の縁辺付近は高度場が平坦であり、標準偏差の等値線(緑色)が同心円状に混んでいるところは、台風中心が存在する可能性が高い領域と考えてよい。下図の7月9日の予想図を見ると、アンサンブル平均は長い楕円形となっているが、週間アンサンブルメンバーの予想が大きく二つに割れつつあることがわかる。

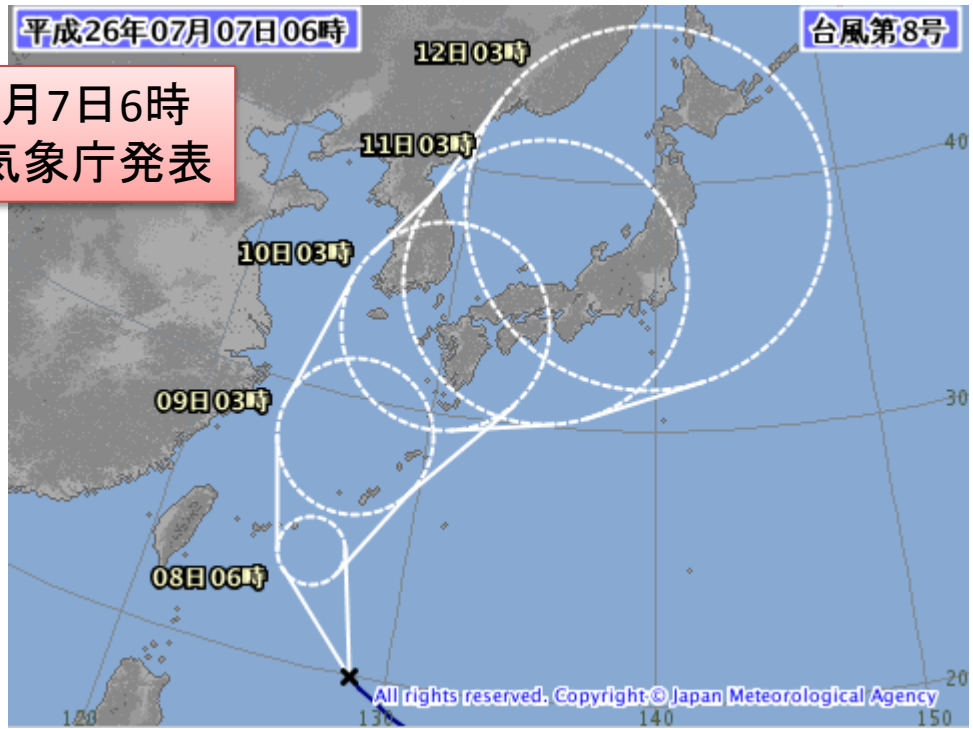
7月3日
初期値



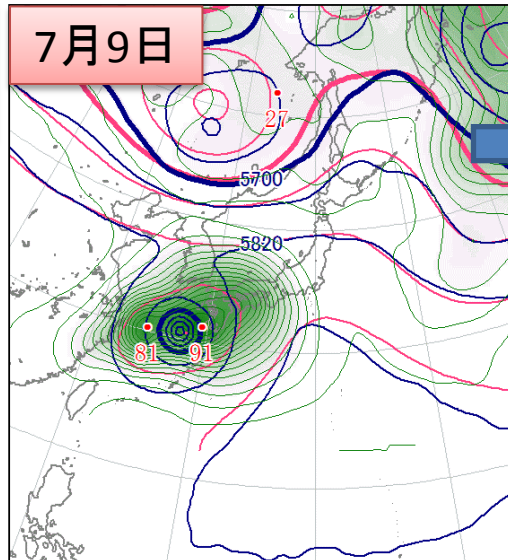
T=144 07/09(水)21:00 JST アンサンブル 500 高度 T=168 07/10(木)21:00 JST アンサンブル 500 高度 T=192 07/11(金)21:00 JST アンサンブル 500 高度

気象庁台風5日進路予想との比較

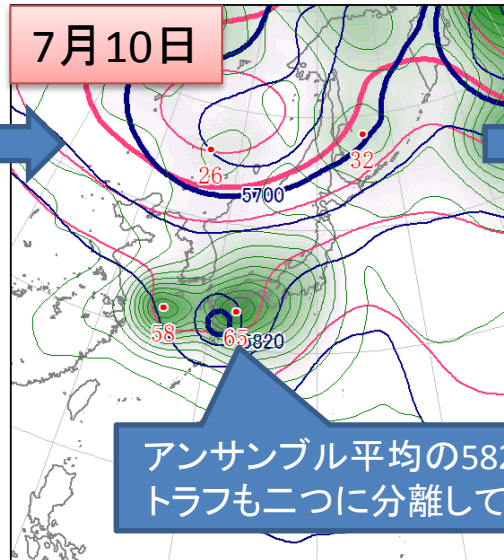
気象庁発表の台風5日進路予報(右図)の3日先までの予報円(GSM+統計誤差)、および4~5日先までの予報円(台風アンサンブルモデル)と下図のFAX-アンサンブルの標準偏差を比較すると、予報円の中心が台風中心の存在する確率の最も高い地点ではないことがわかる。



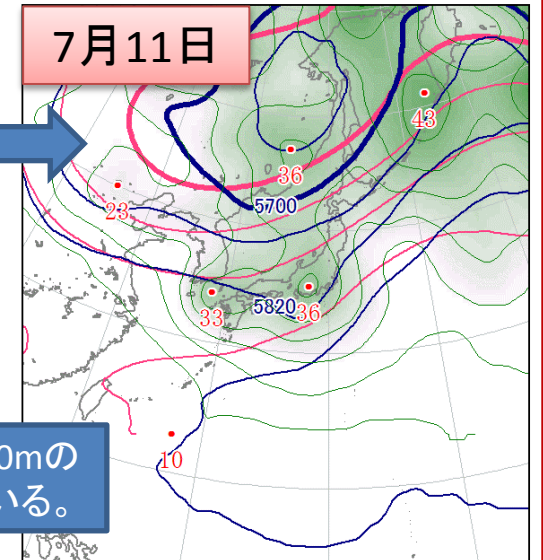
7月6日
初期値



T=96 07/09(水)21:00 JST アンサンブル 500 高度



T=120 07/10(木)21:00 JST アンサンブル 500 高度



T=144 07/11(金)21:00 JST アンサンブル 500 高度